

パパ・ママのための 小児医療講座

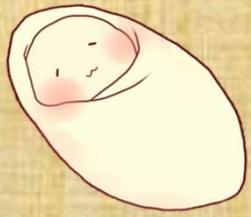
『乳幼児の病気の対応と看護』



助産院 **MONCAN** (もんきやん)

川口市マスコット「きゅぽらん」

助産師 増淵 佳代子



赤ちゃんの誕生

平成・令和のベビー	川口市の年間出生数
平成23年（2011年）	4763人（月間≒ 396 人誕生）
平成27年（2015年）	5327人（月間≒ 443 人誕生）
平成29年（2017年）	4954人（月間≒ 412 人誕生）
平成31年・令和元年（2019年）	4706人（月間≒ 391 人誕生）
令和 2 年（ 2020 年）	4487 人（月間≒ 374 人誕生）

》おはなしリスト《

1:赤ちゃんと子どもの病気・症状

2:パパ・ママができるホームケア

3:子どもに起こっている事故

4:医療機関の受診について

「きたか！」という時

目標は『あわてず落ち着いて対応できる』

ここでお示しした内容は、

“あくまでもひとつの目安である”

ということも含んで理解しましょう。

乳幼児によくある症状

鼻水

せき

発熱

おう吐

下痢

腹痛



けいれん



発熱って



発熱でいちばん多くみられる原因は 『感染症』

- 発熱とは38℃以上の明らかな体温上昇
- 熱が出るのは病気とたたかっています

～大人の直感&触感・体温測定はわきの下

～

- 慌てずに発熱の原因を考えましょう

発熱で受診したい症状

- 元気がなく、グッタリしている
- 飲みたがらない・食事をとりたがらない
- おしっこがいつもよりとても少ない・濃い
- いつものように眠れず、ウトウトしている
- 初めてけいれん（ひきつけ）が起きた

発熱時の受診判断

- 機嫌良く食欲もあれば様子を見ましよう。
- 機嫌が悪い・水分がとれない・顔色がよくない時は早目に受診しましょう。
- **生後3カ月程度までの赤ちゃんの発熱では、**
(泣きすぎ着せすぎは再確認!) 他に症状がなくても念のために受診をしましょう。

発熱時のホームケア

- 熱の出始めは暖かく、熱が出きったら涼しくします。暑そう・寒そうな様子に合わせて、涼しくしたり暖かくしてあげます
- 汗をかいたら拭いて着替えさせましょう
- 少しずつ、こまめに水分補給しましょう
- 嫌がる様子がなければ、クーリングも○です
- 解熱剤は医師の指示通り使用しましょう

けいれんって

- 38℃以上の発熱に伴い乳幼児におきるけいれんや一時的な意識障害を『**熱性けいれん**』と言います。一般で言われる“ひきつけ”も同じ意味で使われます。
- 突然体を硬くして、その後手足をブルブル震わせ眼球は上を向いて白目に。意識がなくなり呼吸は荒く不規則になります。

救急車を呼ぶけいれん

準備して！①時計②メモ③電話 ⇒持続時間、状況メモ、救急車呼ぶ

- * けいれんが5分以上続く
- * けいれんが止まっても
意識がはっきりしない
- * くちびるの色が悪く
呼吸や反応が弱い・・・など

けいれん時の受診

- その子にとって初めてのけいれん
- 生後6ヶ月未満・6歳以上の子ども
- 繰り返してけいれんが起きる状態
- けいれん状態に体の左右差がある
- 嘔吐や失禁（尿便）のあるけいれん
- 体温38度以下でのけいれん

慌てずに、かかりつけ医を受診するけいれん

- すでに診断がついていて、今までにも何度か起こった事があるけいれん発作
(てんかんの診断があり大人が対処が分かる場合)
- けいれんかどうか分からなかった状態
- 左右対称のけいれんが数分で治まり、けいれんのあと短時間で意識が回復しいつもと変わらずに過ごせた場合

けいれんの対応

- 慌てずに、けいれん時間を確かめます
- 顔を横向きにして、衣類等をゆるめます
- 口に指や物は入れず、落ち着いて見守ります
- 体を揺すったり叩いたり刺激は避けます

おう吐って



胃に入ったものを病気・ケガ・中毒などで
不意に吐くことを“おう吐”と言います

頭の病気・ケガや便秘・咳込み・むせ込みで吐いたり、喘息等で息が苦しくて吐いてしまうこともあります。お薬や食べ物のアレルギー反応で吐く事も。お子さんの多くは、感染症による胃腸炎でのおう吐が目立つように思います。

おう吐の受診症状

- 生後3ヶ月未満の繰り返す嘔乳・おう吐
- お腹が張ったり下痢でグッタリしている
- 血液（赤・褐色）・胆汁（緑色）を吐いた
- 元気も活気もなく気持ち悪そうに吐く
- 活気なくウトウト・尿が濃い・出ない
- くちびるが乾燥してグッタリしている

おう吐のホームケア

- まず飲食を一時とめ胃腸を休ませます
- 寝ているときの吐き気にそなえて
体や頭を横に向けて休ませましょう
- 吐き気が治まったら乳幼児イオン水
などを少しづつ回数多く与えましょう
- 汚れたものは、すぐに片付けましょう
(吐物が感染源となることがあるため)

水分のとり方・与え方

- おう吐の際は数時間とめ、胃腸を休ませます
- 子ども用イオン飲料・吸い物・汁もの類
《白湯・お茶など塩分・エネルギーを含まない水分より優先》
- 水分やお薬が飲めるようになったら消化のよいものを与えましょう 《ユルユルごはん・クタクタうどん・バナナなど》
- 母乳、ミルクの与え方は、少しずつ回数を多く与えて、次第にいつものように与えるようにしましょう

おてがる経口補水液

水	:	湯 500 ml + 水 500 ml
塩	:	3 g (小さじ1/2杯)
砂糖	:	40 g (大さじ4と1/2杯)

※レモンやグレープフルーツなど柑橘果汁を加えると飲みやすくなります

受診したいせき

- 声がかすれ、あまり見ない独特なせきをする
- 呼吸の際に、ゼーゼー・ヒューヒュー聞こえる
- お腹や胸をペコペコさせ、息苦しそうなせき
- 呼吸がいつもよりとても速い
- 元気がなく、ウトウトしている
- せきのせいで、飲めない・食べられない・吐く

せきのホームケア

- こまめに水分補給し、のどに潤いを与える
- 上半身を高めにして寝かせる
- せき込みは背中をさすって安心を与えて
- 加湿器などで部屋の空気の乾燥を予防
- まめに掃除をして、ほこりを取り除く



夜の咳を何とかしたい!



1歳を過ぎた子ども



就眠前スプーン1～2杯
ハチミツが効果を発揮
することがあります



下痢の症状



- 元気がなく、ぐったりしている
- おしっこが出ない・色濃いおしっこになる
- 血液が混じったうんちが出る
- 泥状・水様便が出てひどくお腹を痛がる
- 目が凹み、水分をとるのもいやがる
- 38℃以上の熱があり口唇乾燥がある

下痢のホームケア

- 室温程度の飲料を、少量ずつこまめに補給します
- 食事は、おかゆや煮込みうどんなど消化のよいものを少量ずつ与えて様子を見ましょう
- ※離乳食は、母乳またはミルクに戻すか1段階前の状態の消化負担のない食事に戻していきます
- 下痢で荒れやすいおしりを清潔にする
- 「おむつかぶれ」は、保清と軟膏でケアしましょう

便秘の症状



- お腹を抱えて痛がり、しっかり歩けない
- 血液の混じったうんちが出る
- お腹がパンパンにふくらんでいる
- お腹をさわると痛がる
- 腹痛になる前にお腹や腰を強く打った
- 痛みがだんだん強くなる

① 便秘時の受診要否

- 2～3日に1回でも排便でき、機嫌がよく食欲があるようなら様子を見ることが出来ます
- おなかが張って苦しそう、または便が硬く肛門が繰り返して切れたりするときは受診しましょう
- 腹痛でいつも見ないほど激しく泣いたり、血便が出たりする場合、また陰囊や股の付け根を痛がる場合などはすぐに受診しましょう

便秘のホームケア

- お腹などをやさしくマッサージする
- マルツエキス（麦芽糖）などを与えてみる
- 離乳食がすすんでいれば果物・野菜を加える
（いも類・海藻類・ヨーグルトなど）
- 綿棒刺激：綿棒にベビーオイルなどをつけて、
肛門に浅く差し込んで刺激をする
- イチジク浣腸で便の停滞による不快を解消

浣腸のノウハウ



1才未満：おむつをかえる姿勢で浣腸しましょう。



1才以上：横向き姿勢で浣腸するようになります。

※浣腸液を入れ終わったら、ゆっくり容器を抜き、
ティッシュなどで肛門をおさえて
少しの時間 がまんできるよう援助します

やけど



- 子どもの手のひらの大きさ（面積）が1%、手のひら以上の大きさのときはすぐ受診しましょう
- 体表面積の10%（腕1本分くらい）以上の範囲や薬品によるやけどは、大至急病院へ行きます
- 水ぶくれは破らずに、すぐ受診しましょう
顔や頭、関節などの場合は、冷やしながら受診します。

やけどの応急ケア

- やさしい流水で20～30分冷やし、水疱は破かない
- 服の上からやけどをした場合は、服を脱がさず服の上から水をかけて冷やします
- やけどの部分には家庭薬などを塗らずに受診します
- 受診する際、やけどの部位をラップで覆い、
その上から冷やすと治療が受けやすくなります
- 冬場など電気カーペット・湯たんぽなどで起こす低温やけどの場合は、見た目より深刻なときがあるので気づいたら受診しましょう

誤飲（ごいん）

- 子どもの手の届く範囲に、危険なものを置かないように注意しましょう
- 数センチ大の球状（丸いもの）小物は、特に注意が必要です
- 誤飲をした場合の対処方法
どうしよう子どもの救急（日本女医会）
P 17・18を参照ください

食物アレルギー

“アレルギー：本来無害なものに対する免疫反応”

“無害なものに対し過剰に免疫反応することがアレルギー”

よくある受診や相談の様子

- * 「(さっき・昨日・先日) こどもに卵を与えたら、口の周りが赤くなりポツポツ湿疹が。心配で、それ以来たまごは除去しています」
- * 「離乳食でコレを食べたら体じゅうに湿疹ができたので心配で・・・。
できればアレルギーの血液検査をしてほしいです」

アレルギー症状

- 1位：肌（顔も含む全身の皮膚）症状 88%
（赤み・じんましん・かゆみ・浮腫・腫れなど）
- 2位：のどや胸（呼吸・気管支）症状 27%
（ゼイゼイ・ヒューヒュー・呼吸困難など）
- 3位：白目（眼）の粘膜症状 23%
（赤み・結膜などの浮腫・かゆみなど）
- 4位：消化器症状 23%
（おう吐・下痢・腹痛・口腔内搔痒など）

（※ 症状は重複して発現することがみられます）

アレルギー対策・ホームケア

- 生後5～6か月までの赤ちゃん：母乳育児であれば、少量でも定期的にミルク与える
と牛乳アレルギーの予防効果をもたらします
《湿疹ある子・乾燥肌の子》 離乳食スタートの頃にスキンバリアが健常であると
アレルギー予防になり、うるつやの肌を目指しましょう

- 食べたら口の周りが赤くなった⇒丁寧にやさしく洗い、保湿して様子を見ましょう
(赤み・湿疹の経過はしっかり見守りましょう)
- かゆみによる強いぐずり・顔やまぶたの腫れ・全身の湿疹・咳がでるようになるなど、
経験がない状態で対応が分からない時は受診しましょう

- ひどい蕁麻疹に頻回の咳ばらいや息苦しい様子・腹痛・おう吐・顔や眼のむくみなど
いくつかの症状が重なり、反応が思わしくない苦しい様子がある状態
↓
救急車を呼び、そばを離れず、下半身を30cm高くして安静を保ち待ちましょう

食物アレルギーの理解

わずかなアレルギー重度のお子さん以外は、育てる側がアレルギーをしっかりと理解することで、不要な食物除去を避けることができます。

- アレルギーの検査⇒IgE検査を指します

検査値が高くても症状がない場合・低くても症状が強く出る場合があります、非常に不安定な検査といえる側面があります。

《 陽性率 0歳児：80% 1歳児70% 2歳児以上40% 》

- 食物負荷試験⇒強い症状歴なければ、食べてみる大切！
もしわずかな症状が確認されたら、体調確認の上、量や加熱・調理方法の工夫で対策。症状が強ければ、専門医受診します。

食物アレルギーの見解

不要な食物除去（未摂取）が多かった結果 アレルギー発症が増えたという事実があります。重度アレルギーでなければ、

アレルギー予防の基本は“少量ずつ食べて予防！”

（ただし食物負荷において、明らかで見過ごせない症状を経験したひとにぎりのお子さんは、必ず専門医の受診・指導が不可欠・・・ということも忘れてはなりません）

* 口から入ったものは、アレルギーを治す（経口免疫寛容）

* 皮膚から入ったものは、アレルギーを成立させる（経皮感作）

と言うことも、ぜひ知っていただき知識を深めて頂けたらと思います。

誤飲（ごいん）の相談

◆公益財団法人 日本中毒情報センター 中毒110番

* 大阪 : 072-727-2499

(365日24時間対応:情報提供無料)

* つくば : 029-852-9999

(365日9時~21時対応:情報提供無料)

* たばこ専用電話 : 072-726-9922

(365日24時間自動音声対応:情報提供無料)

子どもたちの事故 未然に防ごう



この検索キーワード 参考になります！！

- 1 “乳幼児期の事故防止学習ソフト”
- 2 “子供の事故防止支援サイト
～子どもに安全をプレゼント～”

医療機関の受診

平日・日中の受診は
かかりつけ医（ホームドクター）へ

- 1：かかりつけ医とは、普段の子どもの様子や持病を知り得ていて、気軽に健康相談・病気の相談にのってくれるお医者さんのことです。
- 2：必要な時は、適切な病院なども紹介してもらうことができます。
- 3：子どもの体調がおかしいと思ったら、診療時間内にかかりつけ医を受診しましょう。

医療機関の受診

休日・夜間の受診 できるだけ緊急を要する場合

- ① 夜中や休日に診てもらわなければならない状態なのか判断が肝要です。
- ② 不調と受診が睡眠や安静の妨げにならないか判断しましょう。
救急病院のお医者さんは、日頃からその子の様子を見ているかかりつけ医（ホームドクター）とは違います。すぐ入院して治療する必要があるか、翌日まで様子を見ていいかなど**一時的な判断**をして**応急処置**をします。翌日まで様子を見ていいと判断があった場合、翌日にあらためてかかりつけ医を受診しましょう。
小児夜間救急診療は、昼間に時間のとれない方のための**時間外診療**窓口ではなく、**緊急を要するお子さんの応急診療**となります。

病院に行く前の準備

◆持参するもの

- ・健康保険証 ・ こども医療費受給資格証
- ・診察券 ・ 母子健康手帳 ・ お金 ・ 着替え等
- ・すでに薬剤処方があれば内容がわかるもの

(お薬手帳や飲んでいる薬)

◆受診の仕方◆

- ・できれば現在の体重を知っておきましょう。
- ・受診直前の飲食は避けましょう。
- ・診察を受けやすい服装にしましょう。

病院に行く前の準備

- * 吐いた物やうんちが特徴的であれば持参したり、
または、スマホ等で撮影した画像を持参しましょう。
- * 誤飲の場合は、飲み残しの容器・吐物などを
持参しましょう。



不安な夜間の相談

埼玉県 小児救急電話相談

こどもの急病時、ご家庭での対処方法や
受診の要否について、わかりやすく看護師が
アドバイスする相談先です

 #8000 (シャープハッセン) プッシュ回線・スマホ等

 048 - 833 - 7911 IP・ひかり電話・スマホ・ダイヤル回線

不安な夜間の相談

◆ 埼玉県 救急電話相談（大人・子ども）

2017.10月より24時間対応へ

☎ # 7 1 1 9

ダイヤル回線・IP電話・都県境でご利用の場合

☎ 0 4 8 - 8 2 4 - 4 1 9 9

※相談のはじめに※

「どなたが・いつから・どんな状況」

深呼吸して、できるだけ落ち着いてお話ししましょう

※歯科・精神科・口腔外科は除きます※

広報かわぐちってスゴイ!



11月の救急診療当番医

当番医は、休日により変更することがあります。
最新の情報は、ホームページでご確認ください。

日曜・祝日当番医

診療日	診療時間	当番医	電話番号
3	10:00~19:00	川口市民生活ガイド2021	048-258-1110
7	10:00~19:00	川口市民生活ガイド2021	048-258-1110
14	10:00~19:00	川口市民生活ガイド2021	048-258-1110
21	10:00~19:00	川口市民生活ガイド2021	048-258-1110
28	10:00~19:00	川口市民生活ガイド2021	048-258-1110

小児夜間救急診療当番医

子ども花開き救急診療所

子ども花開き救急診療所

子ども花開き救急診療所

埼玉県救急電話相談

24時間受付 048-824-4100 (相談専用)

1 救急

119番

048-258-1110

2 救急

119番

048-258-1110

3 救急

119番

048-258-1110

お問い合わせ

お問い合わせ

みんなですべて予防! インフルエンザ



マメに
手洗いに

マメに
マスクに

インフルエンザの予防には
みんなの「かからない」、「うつさない」という
気持ちがとても大切です。
手洗いでインフルエンザを予防して、
かかったら、マスク奪せきエチケットも
忘れないでください。

●インフルエンザに関する情報

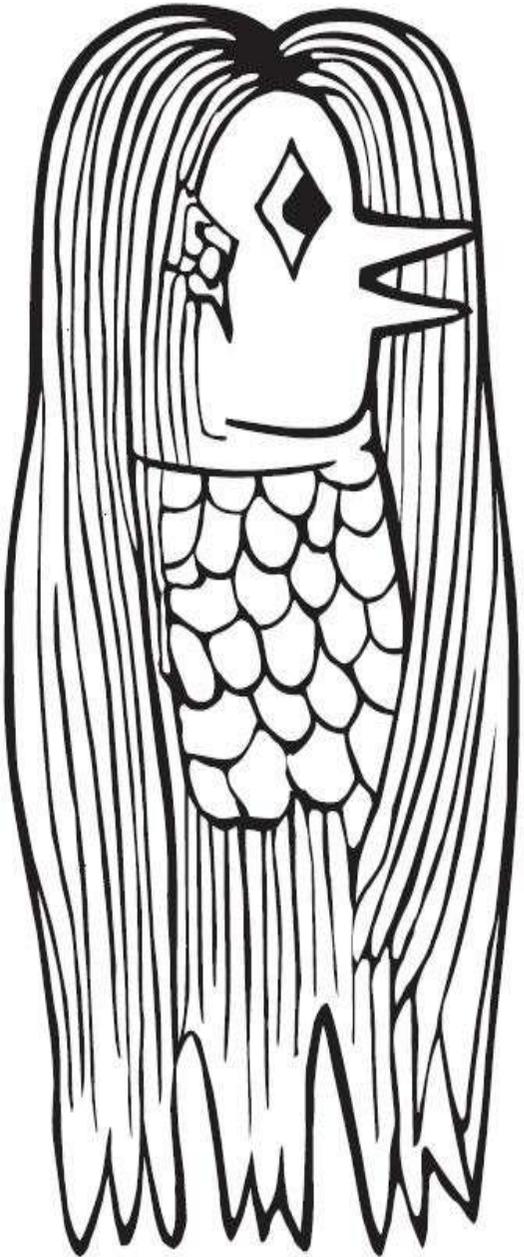


インフルエンザ予防啓発キャラクター アズキちゃん

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/Influenza/Index.html>

川口市マスコット「きゅぼらん」

知らないうちに、広めちゃうから。

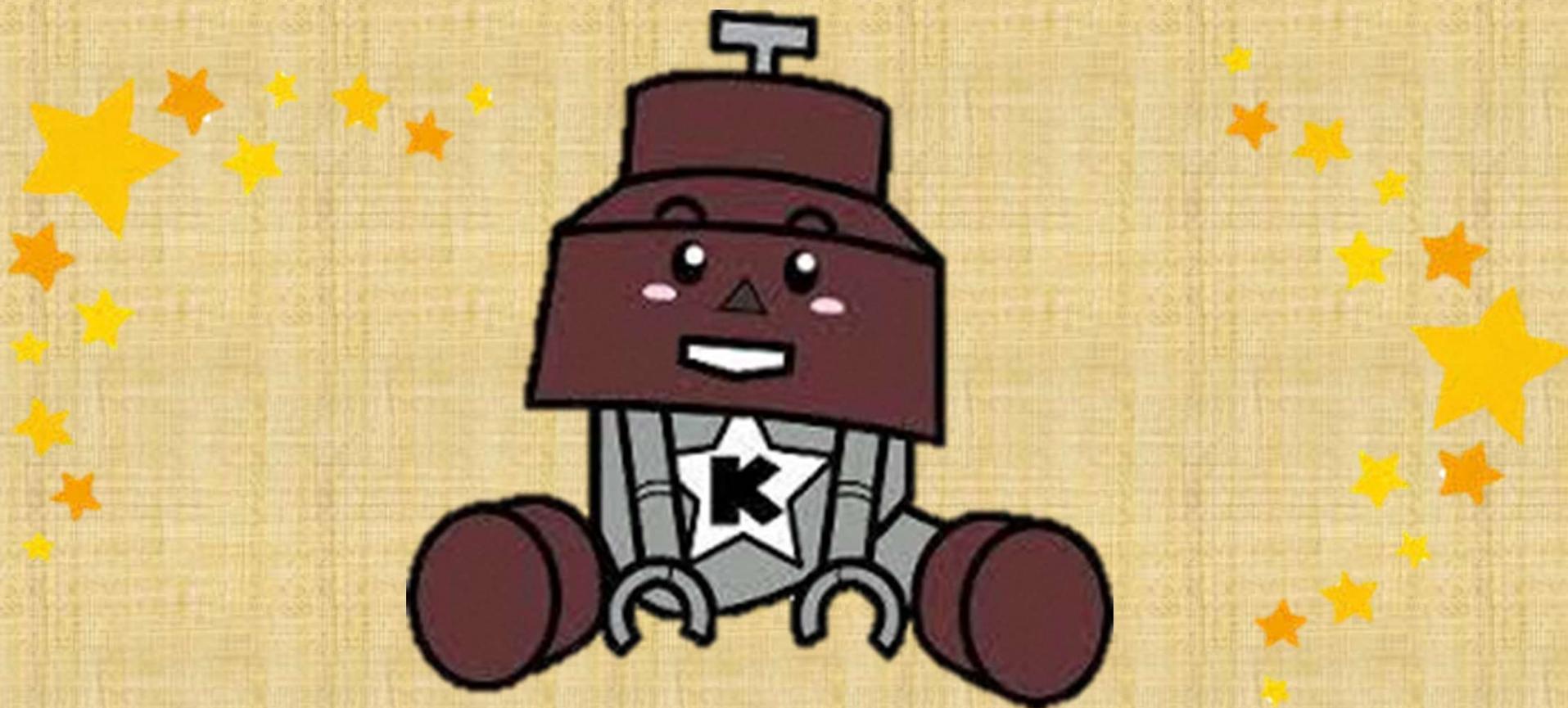


STOP!

感染拡大

— COVID-19 —

本日は
ありがとうございました



川口市マスコット「きゅぼらん」